

福島第一原子力発電所 3号機タービン建屋 雨水の流入防止を目的とした雨水カバー設置開始について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 7 月 2 0 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 中長期ロードマップの2020年内目標である「汚染水発生量を150m³/日程度に抑制」達成に向け、陸側遮水壁やサブドレン、屋根雨水対策等の重層的な対策を現在、進めております。
- これまでに3号機タービン建屋においては、屋上部雨水対策としてクレーンヤードの整備やガレキ撤去作業を進め、線量の低減を進めてまいりました。
- 雨水の流入防止堰等の設置が完了し、準備が整ったことから、本日（7月20日）、損傷部への雨水流入防止を目的とした雨水カバー（縦29m、横28m、厚さ0.5mm）設置作業を開始いたしました。
- 今後、もう1箇所の雨水カバーの設置を8月上旬までに完了し、その後、屋上の簡易防水を9月までの完了する予定です。
- 引き続き、安全最優先で作業を進めてまいります。



【雨水カバー設置に向けた準備作業の様子】
(撮影日：7月17日)



【雨水カバー設置作業の様子】
(撮影日：7月20日)



【雨水カバー設置作業の様子】
(撮影日：7月20日)

<参考> 3号機タービン建屋 屋上部雨水対策

- 3号機タービン建屋の屋上は、水素爆発のガレキが散乱して空間線量率が高いエリアなので下記のステップで対策を進めてきた。

■ STEP 1

： クレーンヤード整備

2018.10～2019.8

- 逆洗弁ピットをコンクリートと砕石で充填。

■ STEP 2

： ガレキ撤去(線量低減)

2019.6～2020.11

- 大型クレーン+吸引装置により遠隔でガレキ、ルーフブロック、敷き砂等を撤去し、線量を低減、雨水濃度低減。

■ STEP 3 (本日実施)

： 雨水カバー設置

2020.4～2020.9

屋根損傷部からの雨水の直接流入を防止。

- 開口部周りに堰を設置の上シート掛けを行う。
- 雨樋・雨水浄化装置を設置する。
- 屋上の簡易防水を行う。



【小型ガレキ・ルーフブロック・砂等の吸引の様子】



【リモート操作状況】



【ガレキ撤去前】 (ガレキの多い箇所)



【ガレキ撤去後】